

# 欽明天皇陵(高市郡明日香村)

前方に鳥居が見える



右手を見ると、これが梅山古墳(欽明天皇陵)/3段築成の前方後円墳/古墳時代後期の築造/正面が前方部で右奥が後円部



周濠沿いに前方部から後円部方向を見たところ/東方向を見たところ



ぎん めい てん のう りょう  
欽明天皇陵

Mausoleum of Emperor Kinmei

陵名は檜隈阪合陵。全長約140m、後円部径72m、前方部107mで、墳丘は3段築成で周濠を持ち、明日香村内では唯一の前方後円墳である。

欽明天皇のころには、百済から仏教が正式に伝わるなど、後に開花する飛鳥文化の源ともなる時代であった。

『日本書紀』によれば、欽明天皇は32年(571年)4月になくなり、9月に檜隈阪合陵に埋葬されたとある。欽明天皇の妃で推古天皇の母、聖鹽媛を推古天皇20年(612)に合葬し、28年(620)10月には砂礫を檜隈陵の上に葺き、土を積みて山を成し、氏ごとに大柱を土の山の上に建てさせるといふ記事が見える。

Also called Hinokuma-no-sakaai-no-misasagi. The tumulus is 140m long in total, with a rounded part 72m in diameter and a square section 107m square. The earthen mound has three tiers with a surrounding dry moat. It is the only keyhole-shaped tumulus in Asuka Village.

According to the Nihon Shoki, the Emperor Kinmei passed away in the fourth month of 571 and was buried at Hinokuma-no-sakaai-no-misasagi in the ninth month. It is recorded there that Princess Kitashi, Emperor Kinmei's wife and the mother of Emperor Suiko, was also buried there with Emperor Kinmei in 612, and in 620 the mausoleum was covered with gravel and an earthen mound raised over it, each clan erecting a great pillar on the top of the tumulus.

明日香村

まっすぐ進むと正面に拝所が見えて来る



西側から見たところ



欽明天皇の都は「磯城島金刺宮」に置かれたと云う



「欽明天皇檜隈坂合陵」として宮内庁により厳重に管理されている



尤も、欽明天皇陵はここではなく橿原市の見瀬丸山古墳だという説もある



そこから墳丘と周濠を見たところ



墳丘の南側で前方部から後円部方向(東方向)を見たところ



そこで、左手に前方部を見たところ



北側での周濠の曲がり角をアップで見たところ



これは南側からくびれ部辺りを見たところ



そこで左手に前方部を見たところ



同じく右手に後円部を見たところ



東側から後円部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



アップで見たところ



南側の後円部から前方部方向を見たところ



くびれ部辺りをアップで見るところ



南東側から墳丘を見たところ/右手前が後円部、左奥が前方部



正面中央は西側にある岩屋山古墳から見た欽明天皇陵



参考ホームページ

<http://www.asukabito.or.jp/spotDetail6.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A2%85%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

[http://inoues.net/tenno/kinmei\\_tenno.html](http://inoues.net/tenno/kinmei_tenno.html)

<https://blog.goo.ne.jp/shoufuu/e/a2edb965b07659669b9f7be4adf9e65a>

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~mizutani/gr029.htm>

